



2022年4月～2023年3月 年次報告
認定NPO法人ReBit

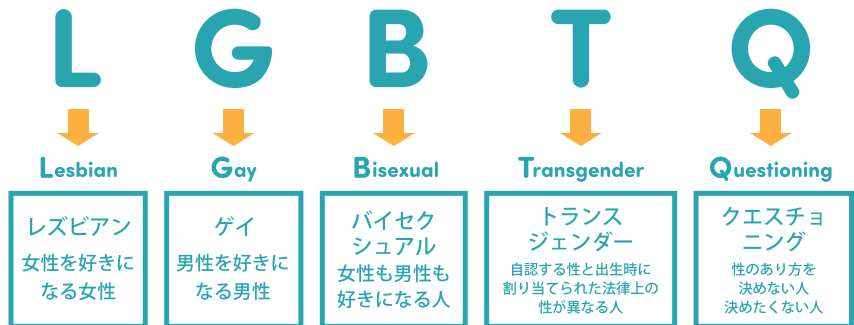


ReBit が目指すこと

LGBTQ もありのままで大人になれる社会へ

LGBTQ とは？

国内の調査では LGBTQ は約 3～10% いるといわれています。^{*1}
5つの頭文字からなり、セクシュアルマイノリティ（性的少数者）を指す言葉としても使われます。この他にも多様なセクシュアリティが存在します。



取り組む課題

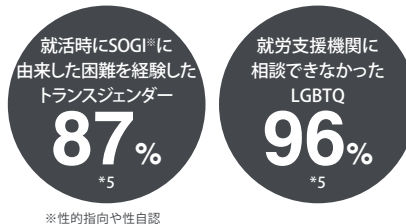
子ども・学校

- ・LGBTQ は学齢期に、いじめ経験や自殺念慮の割合が高い
- ・しかし、教員養成課程でLGBTQについて学んだ教職員は少なく、正しい情報や適切な支援を提供できていません



就職・就労

- ・就活・求職時に、性的指向や性自認に関する困難を多く経験
- ・一方で、相談できる場が不足しています



地域・福祉

- ・学齢期のいじめや就労における困難は、メンタルヘルス悪化や低所得にも繋がっています
- ・しかし、安全網であるはずの福祉サービスを安全に利用できず、孤独孤立や自死に繋がっています



3つの事業

1 教育事業

多様な性に関する学びと、LGBTQの子どもにとっても安心な学校を



2 キャリア事業

LGBTQも自分らしく働ける社会に



3 福祉事業

困窮・障害があるLGBTQも、安心して福祉が利用できる社会に



私自身、女の子として生まれて男性として自認する、トランスジェンダーです。
幼少期から性別に違和感があることを誰にも相談できないうえ、高校生のときに自殺未遂を経験しました。
ちがいをもつ子どもたちに「あなたのままで大丈夫」を届けたくて、20歳のときに学校で授業を始めたのが、ReBit 設立のきっかけです。以降、LGBTQの教育、就労、福祉に取り組み、LGBTQもありのままで大人になり、そして自分らしく暮らせる社会づくりに、多くの皆さんとともに取り組んで来られたことに感謝しています。



ReBit 代表理事 / 社会福祉士
薬師 実芳

^{*1} LGBTやセクシュアルマイノリティの推計には様々な国内調査がある。「働き方と暮らしの多様性と共生」研究チーム(2019)「大阪市民の働き方と暮らしの多様性と共生にかんするアンケート」ではLGBTがTが2.7%、LGBTAが3.3%、「決めたくない・決めていない」を含めると8.2%。日本労働組合総連合会(2016)「LGBTに関する職場の意識調査」ではLGBT等(性的マイノリティ)当事者が8.0%。株式会社LGBT総合研究所(2016)「LGBTに関する意識調査」ではLGBTが5.9%、LGBTを含めたセクシュアルマイノリティが8.0%。電通ダイバーシティラボ(2018)「LGBT調査2018」ではLGBTを含む性的少数者(セクシュアル・マイノリティ)が8.9%。日高藤晴・三重県男女共同参画センター「フレンドみえ」(2018)「多様な性と生活についてのアンケート調査」ではLGBTQが10.0%。岩手県高校教育研究会学校保健部会・いわて思春期研究会(2013)「高校生の生と性に関する調査」ではセクシュアルマイノリティが10.1%などがある。^{*2} いのちリスペクト。ホワイトリボン・キャンペーン(2014)平成25年度東京都地域自殺対策緊急強化補助事業「LGBTの学校生活に関する実態調査(2013)」^{*3} 認定NPO法人ReBit(2022)「LGBTQ子ども・若者調査2022」^{*4} 認定NPO法人ReBit(2023)「学校における性的指向・性自認に係る取り組み及び対応状況調査」^{*5} 認定特定非営利活動法人ReBit(2019)「LGBTや性的マイノリティの就職活動における経験と就労支援の現状調査」^{*6} 認定NPO法人ReBit(2023)「LGBTQ医療福祉調査2023」

ReBit 2022 News

1 日本初、LGBTQ フレンドリーな就労移行支援事業所、1周年！

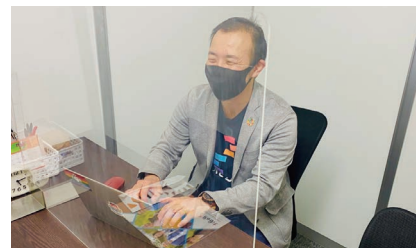
2021年に開所した、日本初のLGBTQフレンドリーな就労移行支援事業所（障害がある人への就活支援を行う福祉サービス）「ダイバーシティキャリアセンター」が、開所から1周年を迎えました。

「自分の地域で相談できる場所がない」等のご相談を全国からいただき、2023年度には大阪での開所を予定しています。



2 約4000名のLGBTQへキャリア支援を、全国で実施

LGBTQへのキャリア支援を、東北・関東・関西の支援団体と連携しながら実施しました。特に、失業・精神障害・生活困窮等の喫緊の課題がある方々への支援に力を入れています。



3 LGBTQやダイバーシティに関する授業/研修を201回・約4.3万人に

学校・行政・企業で、LGBTQやダイバーシティ研修を、ワークショップやケース検討等さまざまな形式で実施しました。



4 ダイバーシティ & インクルージョンに関する国内最大級のキャリアフォーラム開催！

約35万アクセス、38社にご出展頂き、自分らしく働くことについて考える機会をつくることができました。



5 3つの調査を公開

LGBTQユース2670名にご回答を頂いた「LGBTQ子ども・若者調査」、医療・福祉での現状を示した「LGBTQ医療・福祉調査」、そして「支援者のLGBTQ意識調査」をリリース。多くのメディアで取り上げられ、LGBTQの現状を可視化する大きな一助となりました。



6 書籍、行政発行資料、作品の監修に多数携わりました。

電通ダイバーシティ・ラボさまによる児童書『みんなで知りたいLGBTQ+』全5巻の監修や、北区さま・墨田区さまをはじめ、さまざまな行政資料作成の伴走をさせていただきました。



教育事業

LGBTQ を含めた全ての子どもたちが尊重しあえる学校を

- 1** 子どもの状況を明らかにする
LGBTQ の子どもの現状を可視化し、学校での取り組みを促進
- 2** 正しい情報を届ける仕組みづくり
多様な性についての情報を届けて、自己理解・他者理解を深める
- 3** インクルーシブな学校づくり
LGBTQ にとっても安全な学校環境を整える

① 子どもの状況を明らかにする

調査

国内最大級の LGBTQ 子ども若者の現状調査や、教育現場の今を知る調査を実施してきました。

調査詳細は、P14 をご覧ください。



② 正しい情報を届ける仕組みづくり

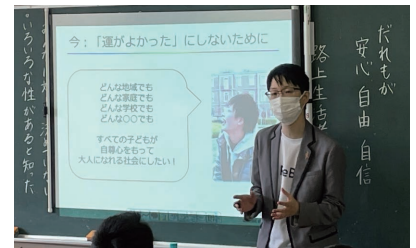
授業・研修

学校や行政で、多様な性を通じて多様性について考える授業 / 研修を行なっています。

1234 回 18 万人



学校 / 行政へ授業 / 研修を提供した回数・人数



教材づくり

教員が理解を深め、授業をすることを応援する教材キット「Ally Teacher's Tool Kit」等の独自教材や、書籍、教科書の監修等を行なっています。

5.4 万部 14 万回



教材の発行部数、再生回数



講師育成

全国でLGBTQの授業を届けられる講師を育成するプログラム「diverseeds」を運営しています。

19 地域 55 人



育成した若者リーダー



③ インクルーシブな学校づくり

教員育成

LGBTQ にとっても安全な学校づくりを主体的に進めてくださる先生を増やすため、勉強会やオンライン情報センター、コミュニティの運営等をしています。



生徒や先生、講師の声

🗣️ 授業を受けた ひかるさん

小学生のときからずっと性別に違和感があることを誰にも言えなくて、「自分っておかしいのかな」とずっと悩んでいました。高校の時に ReBit が学校に来て、授業をしてくれてことをきっかけに、「自分のままでいいんだ」と思えました。



🗣️ 授業を受けた あやさん

友達からカミングアウトを受けたときになにも言えなくて、「傷つけてしまったんじゃないかな」と、悩んでいました。でも、学校で ReBit の授業を受けたときに「話を聞いてくれただけでも安心したと思う」と言ってもらえて、少し安心できました。



🗣️ 教材を使った 佐々木先生

クラスのなかで、いわゆる“オカマネタ”がでたことをきっかけに、多様な性について伝える授業をしようと考えはじめました。どのような授業をしていいかわからず検索していたところ、ReBit の Ally Teacher's Tool Kit を見つけました。学習指導案や映像動画、配布プリントまで全てそろっていて、安心して授業ができました。



🗣️ ReBit の授業で講師をしている れいさん

「アライの大人を増やしたい」という気持ちで授業でお話しています。特に教職員研修では、学校が SOGI インクルーシブな環境となるよう、先生たちに「個人でもできること」や「学校全体として取り組めること」をお伝えし、アライの先生として実践できる次の一歩がわかるようにしています。「相談しやすい先生」になっただけでも大切なので、さまざまな「ちがいを想定した声かけについても、気づきが得られるような研修を意識しています。1人でも多くの子どもが、ありのままにいられる学校が増えるといいなと思います。



これからの注力ポイント

教育事業を始めた 2010 年には「LGBTQ の子どもなんていない」と 100 校連続で授業を断られました。しかし、2024 年度からは全ての小学校教科書に LGBTQ が掲載される予定であることは非常に感慨深く、みなさんのおかげで一歩ずつ進めていることを感謝しています。

今後は、全ての日が LGBTQ の子どもたちにとっても安全な学校環境を実現するため、その要となる教職員のみなさまの育成にさらに注力します。

キャリア事業

LGBTQ も自分らしく働ける社会へ

- 1** 自分らしく働くための支援
LGBTQ へのキャリア支援
- 2** 自分らしく働ける場を増やす・つなぐ
職場のLGBTQ やダイバーシティ推進への伴走
- 3** 自分らしく働くを支援できる人を増やす
LGBTQ も支援できるキャリア支援者の育成

①自分らしく働くための支援

キャリア支援

LGBTQ の就活支援や、キャリア相談を行ってきました。特に、昨今は精神・発達障害があったり、失業・生活困窮状況にあるLGBTQ 等、喫緊な状況の人たちの就労支援に注力しています。

9000人



キャリア支援を提供した人数

無料
LGBTQ+個別キャリア相談

LGBTQの方LGBTQかもしれないと思ってる方を含むを対象に、就活や就労など「働く」に関する様々なキャリア相談をお受けしています。

オンラインだから、スマホやパソコンで、全国どこからでも安心にご利用いただけます！
まずはお気軽にご相談ください。

お申込：詳細はこちら

②自分らしく働ける場を増やす・つなぐ

企業研修・コンサルテーション

企業でのLGBTQやダイバーシティに関する研修や、職場での制度導入のためのコンサルテーションを行なっています。

451回 6.3万人※



企業・就労支援へ研修を提供した回数・人数 ※動画研修含む



■研修実績(敬称略・順不同):東日本電信電話株式会社(NTT 東日本)、株式会社ポーラ、コニカミノルタ株式会社、セガサミーホールディングス株式会社、東日本旅客鉄道株式会社、オエノンホールディングス株式会社、株式会社東急コミュニティー、人権啓発東京講座、東京都

ダイバーシティキャリアフォーラム

国内最大級のダイバーシティと就労に関するキャリアフォーラムを、2016年より開催。企業のべ58社にご出展いただき、学生・若者らに「自分らしくはたらく」を考える機会を提供。2022年度は約35万アクセスをいただき、大盛況となりました。

■後援：厚生労働省、文部科学省、経団連、他多数

2022 DIVERSITY CAREER FORUM 自分らしい働き方、探そう

【御礼】30万回視聴！
大好評につき、全イベントの動画公開！

③自分らしく働くための支援ができる人を増やす

支援者育成

厚労省大臣指定の国家資格キャリアコンサルタント更新講習をはじめ、LGBTQも支援できる就労支援者の育成に注力しています。

2万部



企業・就労支援機関
向け教材発行部数



相談者や企業担当者、講師の声

☞ キャリア相談をした あおいさん

他の場でキャリア相談をする際はカミングアウトしていないので、いかに根底にある自分の経験をごまかすか考えながら話していました。この相談では、セクシュアリティに関する自分の経験もごまかすことなくお話できたので、自分の考えを整理できました。今後、困ったことがあってもここに相談できるという安心感を手に入れられてよかったです。



☞ キャリアイベントに参加した りょうさん

自分自身がトランスジェンダーで精神障がいがあるダブルマイノリティなので、いろいろな企業の幅広い多様性への取り組みを知れて、自分らしく働けるんだと、就職活動のスタートをやっと切ることが出来ました。また、当事者の社会人からお話を聞いたことで、自己肯定感が上がりました。



☞ 企業研修を受けた 人事の田中さん

言葉としては知っているつもりでも、実情を全くわかっていなかったことを感じました。整理された理論とLGBTQの社会人の個々の声のバランスが良く、良い機会でした。職場でアライが増えるよう、これからも取り組んでいきたい。



☞ キャリア事業部 井澤さん

研修をお届けしていて、「当事者の声を生で聞くことができよかったです」という声をいただきます。「LGBTQ」という言葉は知っていても、実際に会ったことがない、身近にいないと感じている方々にとって、この出会いは貴重なものであることを実感します。当事者との出会いが、LGBTQを含む誰もが働きやすい職場づくりには何ができるかを考えるきっかけになれば幸いです。



これからの注力ポイント

キャリア事業部を開始した2013年には「LGBTQの就活生は会ったこともない」と企業や支援者のみなさんに言われることもしばしばでしたが、今では多くの企業がLGBTQに取り組んでいただき感謝しています。

一方で、2022年にReBitが実施したLGBTQ子ども・若者調査2022では、トランスジェンダーの75%が過去1年で就職・転職をした採用選考時に困難やハラスメントを経験したと回答し、未だ困難が多い現状がみられます。

これからも自分らしく働ける職場を増やすための研修・コンサルテーションや、LGBTQも支援できるキャリア支援者育成に注力し、一人一人の自分らしく働くことを応援します。

福祉事業

LGBTQ も安心して福祉サービスを利用できる社会へ

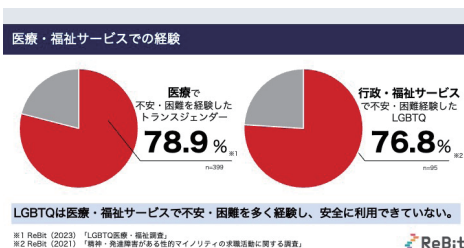
- 1 福祉利用に関する状況の可視化**
LGBTQ の福祉利用に関する現状を可視化し、福祉分野での取り組みを促進
- 2 安全に利用できる支援モデル創出**
LGBTQ も安全に利用できる福祉サービスのモデルを創る
- 3 行政・福祉事業者の連携・啓発**
LGBTQ も安全に利用できる福祉を行政・事業者と連携し広げる

① 福祉利用に関する状況の可視化

調査

国内最大級のLGBTQの医療・福祉の現状調査や、支援者のLGBTQ意識調査を実施してきました。

調査詳細は、P14をご覧ください。



② 安全に利用できる支援モデル創出

日本初、LGBTQフレンドリーな就労移行支援事業所

ReBitは2021年に、日本初のLGBTQフレンドリーな就労移行支援事業所*「ダイバーシティキャリアセンター」を東京都渋谷区に開所。精神障害があるLGBTQも自分らしく働き暮らせる社会に向け、就労支援をしてきました。

2022年度には支援を関西・東北にも広げ、2023年度には大阪府大阪市でセンターを開所予定です。

*障害がある方の就活を支援する福祉サービス



③ 行政・福祉事業者の連携・啓発

支援者育成

厚労省大臣指定の国家資格キャリアコンサルタント更新講習をはじめ、LGBTQも支援できる就労支援者の育成に注力しています。



支援者や利用者の声

🗣️ 就労移行支援事業所の利用者 はるさん

初めて、障害もセクシュアリティも安心して相談ができました。初めて呼ばれたい名前と呼ばれ、初めて着たい服を着られました。スタッフや講座を通じてたくさんのロールモデルと出会って、自分のままで生きて働いていいんだって思えました。



🗣️ 就労移行支援事業所の利用者 なつさん

以前の就労移行では、セクシュアリティに由来したハラスメントを受けていたので、きちんと支援を受けられていると感じられるのは初めてです。安心してこういうことか、って思います。



🗣️ 相談者 あきさん

精神障害があるというだけでも地元では生きづらいのに、トランスジェンダーだなんて言ったらもう生きていけない。でも、精神障害で働けずお金もないので、東京に引っ越すことはできないし。地元で相談できる場所もなく、自殺未遂を繰り返していましたが、この相談を知り、つながれて安心しました。



🗣️ サービス管理責任者 まみさん

トランスジェンダーであると自認した高校生時代。同級生が将来の夢を語るなか、私は働く自分を想像することができず、職業選択以前に、どのように生きていけばいいのかわかりませんでした。

複合的マイノリティの方々への支援に携わるなかで、当時の私のように、自分には選択肢が少ないのではとの不安の声をたくさんいただきました。しかし、働き方を含めた生き方の選択肢は、一人ひとり多様です。自分らしく生きる・働く選択肢を広げられるよう、日々伴走しています。



これからの注力ポイント

LGBTQ であることは障害や病気ではありませんが、学齢期のいじめや職場のハラスメント等を理由とし、LGBTQ の 4 割は過去 10 年にうつ等の精神障害を経験。しかし、LGBTQ の 78% は障害福祉サービス利用時に困難やハラスメントを経験し、福祉を安全に利用できないことで、3 人に 1 人が病状悪化、5 人に 1 人が自死念慮 / 自殺未遂を経験するという、喫緊な状況です。2013 年から行ってきた ReBit のキャリア支援のなかでも、精神障害がある LGBTQ からのご相談を多くいただきました。そのなかには、福祉サービスの利用時にハラスメントを受けたというご相談や、自死された方も。

状況を変え、LGBTQ も安全に福祉を利用できるようにしたいと、2021 年に日本初となる LGBTQ フレンドリーな就労移行支援事業所（障害がある人たちの就職を支援する福祉サービス）を東京都に開所。すると、1 年半でのべ 6000 人からのご相談が全国から届きました。「地元で相談できる場所がない、これでは生きられない」そんな喫緊のご相談を受けるなかで、支援と啓発の拠点を全国に広げたいと、2023 年度には大阪での事業所展開を目指します。

コレクティブ・インパクト

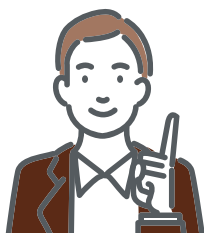
ReBit は企業・行政・学校・NPO などと広く協働し、LGBTQ やダイバーシティの課題に取り組んでいます。

■ NHKさまにて、相談窓口のアドバイジングと職場内の理解促進のお取り組みに伴走

日本放送協会（NHK）さまにて、多様な性のあり方に関する相談窓口のご担当者さまへのアドバイジングと、職場内での理解促進のためのお取り組みの伴走を実施させていただきました。職場内での多様な性のあり方の尊重と DEI 推進を考えていただく e-ラーニングコンテンツを3年にわたり企画・制作させていただいた他、多様な性のあり方について理解を深めるための職場内ハンドブックのご提供をさせていただきました。研修やハンドブックの作成に際しては、実際にNHKで働く皆さまのご協力で、「職場内の生の声」をお届けできました。次のステップとして、企業内のキャリアコンサルタントの皆さまへ向けた継続研修プログラムも始動しています。これからも、LGBTQ や DEI のテーマに取り組む際の推進パートナーとして伴走できる存在であり続けたいと思います。



🗣️ 日本放送協会（NHK）
人事局 副部長 HRマネジメントG&キャリアサポートセンター
永井 英之 さま



相談窓口を担当するにあたって3年間 ReBit さまに伴走いただきました。ReBit さまと対話しながら、eラーニングの構成や詳細を詰めていくプロセスはとても気づきが多く貴重な経験でした。企業内キャリアコンサルタントとの連携では、さまざまな違いを包摂できるコンサルタントを養成していくことを目指しています。これからも人事担当者として、ひとりの Ally として ReBit さまとともに、少しでもよい組織づくりをしていければと考えています。

■ スターバックスさまとともに学校をレインボーに

スターバックス コーヒー ジャパン 株式会社さまにご寄付をいただき、校内のLGBTQへの理解促進とセーフスペースづくりを目的とした「レインボー学校プロジェクト」を行ないました。LGBTQ やアライのパートナー（従業員）にもご登壇をいただき、2020年度より小学校・中学校・高等学校・大学等で43校で、多様性を考える授業をおよそ1.1万名の生徒や先生に届けることができました。また、この取り組みは、任意団体 work with Pride が主催する性的マイノリティに関する取り組みを評価する『PRIDE 指標 2021』のベストプラクティスを受賞しました。



🗣️ スターバックス コーヒー ジャパン 株式会社
マーケティング本部 広報部 Social Impact チーム
林 絢子 さま



弊社パートナー（従業員）の体験談は、いま何かに悩みを持っている生徒さんへ勇気を届けることが出来たように思います。自分自身に真摯に向き合っている生徒の皆さんに話をさせていただいたパートナーにとっても、自分を改めて顧みる機会、そして皆さんの身近なロールモデルという存在になれる喜びを感じることができました。

自治体連携

各地域の自治体の皆さまと連携して、LGBTQ や多様な性に関する周知啓発のための研修提供やハンドブック作成等を実施しています。

<伴走の一例>

東京都：職員向けハンドブック、都民向けハンドブックの監修

東京都北区：職員向けハンドブックの監修と、ハンドブックを活用した職員向け研修の実施

東京都墨田区：職員向けハンドブックの監修と、男女共同参画に関する区民講座への登壇

神奈川県：県内の中小企業人事担当者向け研修の実施

上記の他にも、市民向けのセミナーや、教育委員会と連携した学校向けの啓発に関する企画などにも協力させていただきました。各地域で取り組みを進めていただくことは、LGBTQ も安心して頼ることのできるセーフティーネットの構築にもつながります。今後は、福祉の分野においても自治体との連携を深め、LGBTQ を含めた多様な人が過ごしやすい社会づくりに共に取り組んでまいります。



学校へ教材の無償提供

ジョンソン・エンド・ジョンソン日本法人グループさま、ブラックロック・ジャパンさまなど多くの企業さまにご寄付をいただき、小・中学校約2000校に教材キット「Ally Teacher's Tool Kit」を無償提供できました。多くの企業さまからのご寄付のもと、LGBTQ の子どもにとっても安全な学校を増やす取り組みは、社会を変えるグッドデザインであると称され、2019年にグッドデザイン賞を受賞しました。



厚生労働省さまにて研修実施

厚生労働省さまにて「LGBTQ 等性的マイノリティについてのハローワーク職員研修」の講師を務めさせていただき、全国から多くの労働局・ハローワークの職員の皆さまにご参加いただきました。労働者からだけでなく、事業主からの相談にも対応される皆さまに、多様な性に関する十分な情報を知っていただくことは、各職場のお取り組みを進めるきっかけにもなることと思います。貴重な機会をいただいたことに感謝し、今後も、キャリア支援に携わる皆さまと一緒に、「LGBTQ ×キャリア」のテーマについて共に考えていきたいと考えています。

瀧本株式会社さまとジェンダーインクルーシブな制服を共同開発

昨今、制服選択制の導入が話題になるなど、学校の意識が変化しつつあります。そのようなニーズに対応するため、制服メーカー各社も多様な制服を提案しています。ReBitでは、「スクールタイガー」ブランドを擁する瀧本株式会社さまと協働して、ジェンダーインクルーシブな制服の開発に取り組んでいます。

SOGI インクルーシブな教科書の実現へ

小学校～高校の教科書を制作する教育出版株式会社さまと、多様な性を教科書で取り上げる際のポイントなどについて意見交換をしました。また、SOGI インクルーシブな教科書づくりのための研修もさせていただきました。

ReBitトーク!

ReBit で働く職員や、ともに事業を創るボランティアメンバー等、「チーム ReBit」にいろんな質問をしてみました。

Q1 ReBit にジョインしたきっかけは?

LGBTQであることで、苦しむ子どもたちがいなくなる世の中を見たいと思ったから
(理事・山田さん)

ReBit 主催のイベントに参加し感銘を受けた

ことをきっかけに、翌年からプロボノスタッフとして参画するようになりました。
(プロボノ・とくちゃん)

大学の先輩に出張授業に誘っていただいたことが、参加のきっかけでした。たくさんの子どもたちの声をきくなかで、自分だけが困っていたことではないこと、LGBTQが抱えている課題は社会の課題だと気づきました。
(職員・三戸さん)

10年前に ReBit の活動を知り、**日本でももっと知られるべき、**変わるべき社会課題に徹底的に取り組んでいることを、応援したくなった。
(理事・レイモンドさん)



Q2 LGBTQ もありのままで大人になれる社会に近づいていると感じた瞬間は?

地元の学校から出張授業のご依頼があったとき

地元でも多様な性について考えてくれる大人がいることを感じ、とてもうれしかったのを覚えています。
(スタッフ・三戸さん)

教科書に LGBTQ について掲載されたとき!

出張授業で直接訪問できる範囲には限りがある中、教科書で学べるようになることで情報が届く範囲がぐっと広がりました。
(事務局長・中島さん)

ReBit の授業を受けてくれた高校生が、数年後に授業の講師として授業を届ける側になってくれたり、就活支援をした学生が就職先企業の担当者として数年後に ReBit に携わってくれるときは、感無量です。こうやって**共に変えていく仲間がこれからも増えること**が、社会が変わることだと思っています。
(代表理事・薬師さん)



Q3

思い出に残っている 声や場面を教えてください！



ダイバーシティキャリアセンターのフェロー（利用者）さんが、ご自身が呼ばれた名前や希望する洋服を、**初めて支援スタッフに話してくださったこと。**

（職員・澁谷さん）

「**社会が変わる音がする**」と職員やスタッフが、わくわくしながら話している姿。

（理事・山田さん）



ReBit が主催する、国内最大級のダイバーシティキャリアフォーラムに初めて参加したとき。多様なキャリアについて考えている人や組織がこんなにいるんだととても励まされたし、**自分の次にやりたいことを方向づける機会になりました。**

（プロボノ・とくちゃん）

Q4

ReBit での 次のチャレンジは？



2023 年度は職員数も増え、大阪事業所も開所予定。

多地域拠点で運営する新しい ReBit のガバナンス・コンプライアンスの整備に取り組みます。

（経営管理部長・佐藤さん）

全国どこで生まれても LGBTQ がありのまま大人になれる、**安心して暮らせる地域を増やしていくこと。**正しい情報を伝えてくれる大人や大丈夫だよと言ってくれる大人、そして自分らしく生きられることを伝えてくれるロールモデルが地域のなかで可視化されるように取り組みを進めていきたいです。

（職員・三戸さん）

一緒に社会を創る人の輪を広げ、ReBit と共に歩んでもらう

ため、ダイバーシティや LGBTQ のテーマに取り組む方々とのつながりを深めます。特に、企業のダイバーシティ担当者さまたちにとって、インクルーシブな職場づくりを実現するための頼れる推進パートナーでありたい。

（事務局長・中島さん）

ReBit でつちかった知識やノウハウを、**社会全体や他のコミュニティに還元していくこと。**

ReBit にずっと関わりつづけてくれるのも嬉しいけれど、ReBit を卒業した人が、他のコミュニティのリーダーになっていくのも嬉しい。いつまでも ReBit の一員であるというアイデンティティをもちながら、他の場所でもミッション達成のために尽力したいです。

（スタッフ・小川さん）



ReBit が携わる書籍・教材

子ども向け

書籍

「ふつう」ってなんだ?:
LGBT について知る本

薬師実芳ほか (2018)
学研プラス◎



書籍

いろいろな性、
いろいろな生き方

渡辺大輔 (2016)
ポプラ社◎



書籍

みんながってみんなステキ:
LGBT の子どもたちへ
届けたい未来

高橋うらら (2021)
新日本出版社◎



書籍

みんなで知りたい
LGBTQ+ (全 5 巻)

電通ダイバーシティ・ラボ (2022)
文研出版



教職員・ 保護者向け

書籍

改訂新版 LGBT ってなんだろ
う?: 自認する性・からだの性
・好きになる性・表現する性

薬師実芳ほか (2019)
合同出版◎



書籍

教育と LGBTI をつなぐ:
学校・大学の現場から
考える

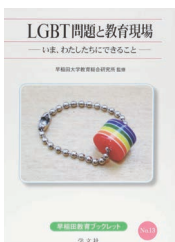
三成美保ほか (2017)
青弓社◎



書籍

LGBT 問題と教育現場:
いま、わたしたちにできること
(早稲田大学教育ブックレット)

学文社
(2015) ◎



DVD

先生にできること:
LGBT の教え子たちと
向き合うために

ReBit (2012) ○



教材キット

中学校版
Ally Teacher's Tool Kit

ReBit (2017) ○



教材キット

小学校高学年版
Ally Teacher's Tool Kit

ReBit (2018) ○



教材キット

教職員研修用
Ally Teacher's Tool Kit

ReBit (2021) ○



- ◎…全国の書店でご購入いただけます
- …stores にてご購入いただけます <https://rebitlgbtsupporters.stores.jp>
- …ホームページよりご注文ください <https://rebitlgbt.org>

人事・就労 支援者向け

書籍

法律家が教える LGBT
フレンドリーな職場づくり
ガイド

LGBTQ とアライのための法律家
ネットワークほか(2019) 法研◎



書籍

トランスジェンダーと職場環境
ハンドブック: だれもが働き
やすい職場づくり

東優子ほか (2018)
日本能率協会マネジメントセンター◎



書籍

LGBTI の雇用と労働:
当事者の困難と
その解決方法を考える

三成美保ほか (2019)
晃洋書房◎



冊子

LGBT と職場について考える
ハンドブック: すべての人が
豊かに働く職場づくりを目指して

ReBit (2015) ●



冊子

LGBT 就労支援
ガイドブック

ReBit (2015) ●



冊子

キャリア支援者のための
LGBTQ ハンドブック

ReBit (2021) ●

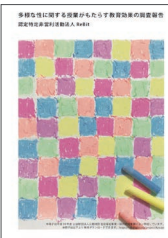


調査報告

冊子

多様な性に関する授業
がもたらす教育効果の
調査報告

ReBit (2018) ●



Web

LGBTQ
子ども若者調査 2023

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000031.000047512.html>



Web

学校における性的指向・
性自認に係る取り組み及び
対応状況調査(2022年度)

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000046.000047512.html>



Web

LGBT や性的マイノリティ
の就職活動における経験
と就労支援の現状

<https://fields.canpan.info/data/organizations/138/138362/1383625397/files/HExXASJ.pdf>



Web

支援者の LGBTQ
意識調査

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000040.000047512.html>



Web

LGBTQ 医療福祉調査
2023

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000045.000047512.html>



支えてくださった企業 / 団体のみなさま

Bloomberg



invisible
land.

BlackRock®



Deloitte.
デロイト トーマツ



JSOL



三和グループ
社会貢献倶楽部

大和ハウスグループ
エンドレス募金



ANDERSON
MŌRI &
TOMOTSUNE



JANPIA



ファイザープログラム
～心とからだの
ヘルスケアに関する
市民活動・市民研究支援



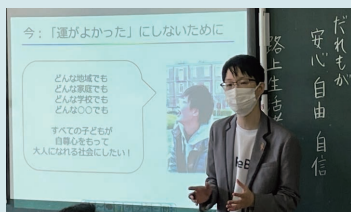
埼玉県

寄付のお願い

ReBit の活動は、皆様のご寄付に支えられています

毎月1,000円の寄付で

小学校1クラスに、出張授業を届けられます。(1学年200人の場合)



毎月3,000円の寄付で

就活生4人にキャリアカウンセリングを提供し、自分らしく働くことを応援できます。



毎月5,000円の寄付で

教材提供を通じ、児童生徒4,300人に、LGBTQについて学ぶ機会を届けられます。



※1年間のご寄付を続けられた場合

マンスリーサポーター「にじいろバトン」の仲間になりませんか？

1日33円から、LGBTQを含めた全ての子どもがありのまま大人になれる社会を実現できます。ご自身の都合にあわせて、月額寄付金額コースをお選びいただけます。

マンスリーサポーターの声



山崎 啓介 さん
会社員

2019年春、ちょうど我が子が小学校へ入学というタイミングから ReBit のにじいろバトンに参加させて頂いています。自分が子どもの時と比べて、ずいぶんと多様性が認められる時代になりました。子どもから学校生活の話も聞いていても、様々なちがいをもち子どもたち同士、それぞれに尊重しあいながら、自然体で過ごしている様子を耳にします。これから先、我が子が成長し思春期を迎えても、ありのままの友達を認め、また自分自身もありのまま育ててほしい。まさに ReBit の目指す社会を私も望んでいます。そのためには私たち大人が、いまの社会課題を正しく理解する必要があります。これからも ReBit の活動を応援しながら、私自身も学ばせて頂きます。

お申し込み方法

①クレジットカード決済

<https://rebitlgbt.org/support/nijiirobaton>
「にじいろバトン」で検索！



カード支払いは VISA・MASTER・JCB・AMEX・Diners に対応しています。

②銀行振込み

https://rebitlgbt.org/support/oneoff_donate
後日、お礼や領収書発行をさせて頂きたいので、上記リンクのフォームにご記入の上、お振込みをお願いいたします。ご寄付をしようと思った理由とともに、「にじいろバトン入会希望」と記載してください。

※ ReBit は認定 NPO 法人です。確定申告を行うことで寄付金控除（税制優遇）の対象となり、寄付金額の最大約半額が戻ってきます。

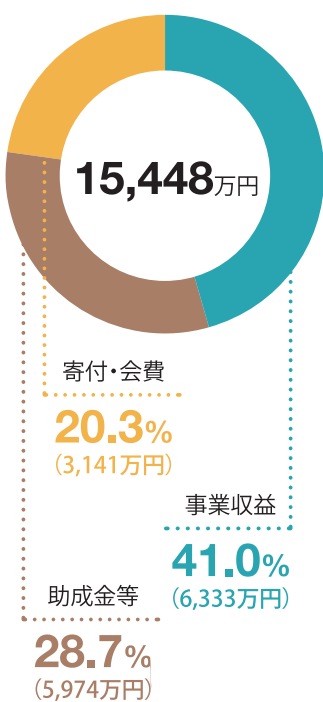
財務諸表および計画

2022年度、ReBitは経常収益は15,448万円、前年比5,962万円（63%増）収益増となりました。この背景には、就労移行支援事務所（ダイバーシティキャリアセンター）の事業が本格稼働したことによる事業収益、教育・キャリア・福祉での新しい取り組み（調査リリースや東北・関西での就労支援等）に関する助成金・補助金の採択、そして個人・法人の寄付者が増えていることが挙げられます。

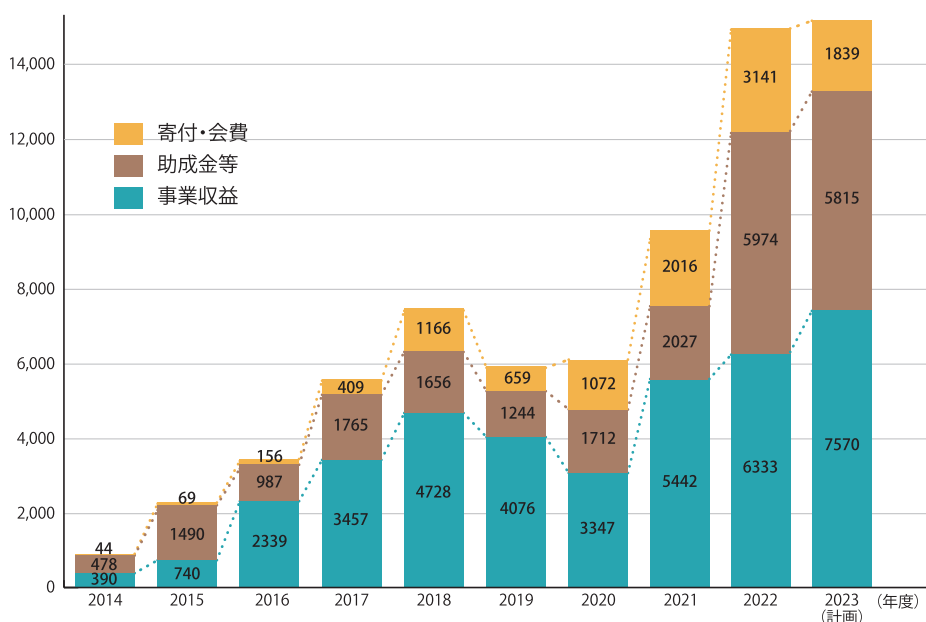
経常費用は8,781万円、前年比2,218万円（34%増）となりました。今期の当期経常増加額は6,396万円。来期以降に繰り越し、ReBitの中長期のアウトカム実現に向けた事業推進に充当していきます。

2023年度予算は、経常収益が15,223万円、経常費用13,635万円、当期経常増加額1,588万円です。収益は2022年度同程度となる見込みである一方、費用は新たな取り組みや事業面・管理面での体制拡充等により前年比4,854万円増のため、持続的・発展的な事業への取り組みを進めていきます。LGBTQ領域の課題や取り組み重要性がより認知されている中で、ReBitメンバーや各事業で一緒にいる様々な方々と共に、新たな価値を共創する一年とします。引き続きご支援をよろしくお願いいたします。

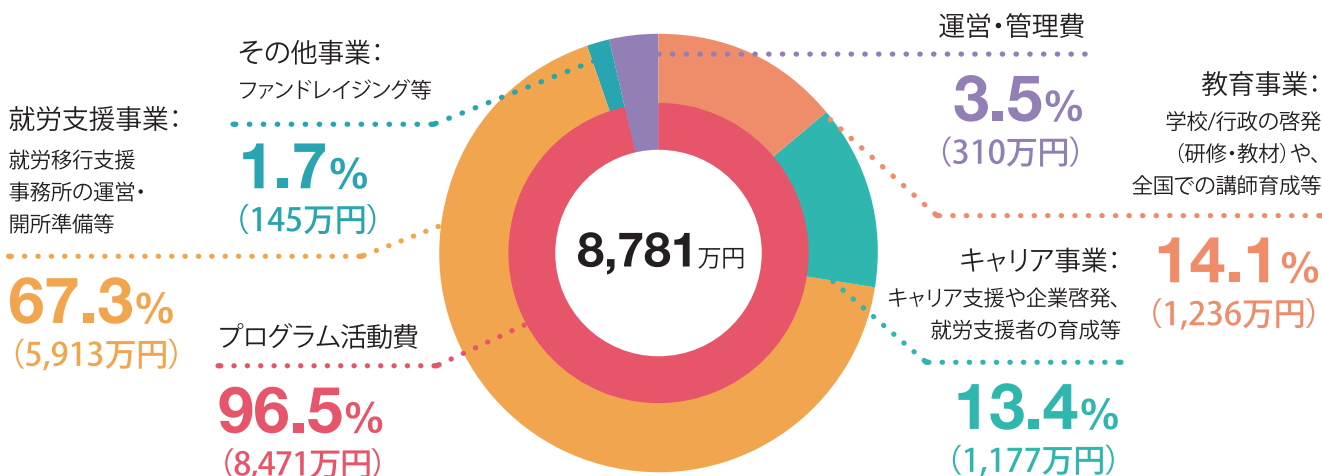
2022年度収益の内訳



収益推移および計画



2022年度費用の内訳



活動計算書 (2022年4月1日～2023年3月31日)

(単位:円)

科目		2021年度	2022年度	前年度比増減 (21-22年度)	2023年度 (予算)	前年度比増減 (22-23年度)	
経常収益	受取会費	130,000	120,000	(10,000)	120,000	0	
	受取寄附金	20,032,835	31,294,807	11,261,972	18,267,200	(13,027,607)	
	受取助成金等	20,274,200	59,743,355	39,469,155	58,145,000	(1,598,355)	
	事業収益	54,423,042	63,326,012	8,902,970	75,695,691	12,369,679	
	その他収益	834	4,105	3,271	1,000	(3,105)	
	経常収益 計	94,860,911	154,488,279	59,627,368	152,228,891	(2,259,388)	
経常費用	事業費	人件費	35,094,996	44,758,872	9,663,876	82,181,204	37,422,332
		その他経費	27,563,680	39,948,767	12,385,087	46,406,200	6,457,433
		事業費 計	62,658,676	84,707,639	22,048,963	128,587,404	43,879,765
	管理費	人件費	1,031,468	1,075,706	44,238	5,875,187	4,799,481
		その他経費	1,940,388	2,026,980	86,592	1,890,000	(136,980)
		管理費 計	2,971,856	3,102,686	130,830	7,765,187	4,662,501
	経常費用 計	65,630,532	87,810,325	22,179,793	136,352,591	48,542,266	
	当期経常増減額		29,230,379	66,677,954	-	15,876,300	-
経常外収益		376,215	0	-	0	-	
経常外費用		3,615,973	164,502	-	0	-	
当期正味財産増減額		25,920,621	63,956,352	-	15,876,300	-	
前期繰越正味財産額		90,572,890	116,493,511	-	0	-	
次期繰越正味財産額		116,493,511	180,449,863	-	15,876,300	-	

貸借対照表 (2023年3月31日現在)

(単位:円)

科目		金額	
資産の部	活動資産	現金・預金	95,204,072
		売上債権	7,966,819
		棚卸資産	372,680
		その他流動資産	89,206,147
		流動資産 計	192,749,718
	固定資産	有形固定資産	5,186,798
		投資その他の資産	5,075,140
		固定資産 計	10,261,938
資産の部 合計		203,011,656	
負債の部	流動負債	未払金	7,155,576
		前受金	11,271,369
		預り金	853,748
		未払法人税等	2,557,100
		未払消費税等	724,000
		流動負債 計	22,561,793
	負債の部 合計		22,561,793
正味財産の部	前期繰越正味財産額	116,493,511	
	当期正味財産増減額	63,956,352	
	正味財産の部 合計	180,449,863	
負債及び正味財産の部 合計		203,011,656	

この活動計算書と貸借対照表は会計帳簿と一致し、認定特定非営利活動法人ReBitの収支を正しく示していることを認めます。



ReBit監事
公認会計士
国見 健介



ReBit顧問税理士
准認定ファンドレイザー
中山 麻衣子

※次期繰越正味財産額のうち、一部をLGBTQキャリア支援積立のための特定資産として計上しています。

認定 NPO 法人 ReBit (りびっと)

〒151-0053

東京都渋谷区代々木 3-26-2 新宿カメヤビル 4 階

取引銀行：三井住友銀行 武蔵境支店 普通預金 0596883

理事 (2022 年度)：薬師 実芳 (代表理事) / レイモンド・ウォング /
猿渡 由実子 / 中島 満香 /
山田 久二裕 / 湯本 洋美

監事：国見 健介

表紙等撮影：たかはしじゅんいち

沿革

2009 年 12 月：早稲田大学の学生団体として設立

2010 年 6 月：初の出張授業開催

2012 年 1 月：LGBTQ 成人式初開催

2013 年 8 月：LGBTQ 就活生向け支援イベント初開催

2014 年 3 月：NPO 法人に

2014 年 4 月：企業・就労支援者向け研修開始

2016 年 10 月：RAINBOW CROSSING 初開催

2017 年 3 月：教材 Ally Teacher's Tool Kit リリース

2018 年 7 月：認定 NPO 法人に

2021 年 12 月：就労移行支援事業所ダイバーシティキャリアセンター開所

✉ info@rebitlgbt.org

🖥️ <https://rebitlgbt.org>

🐦 @Re__Bit

📘 <https://www.facebook.com/Re.Bit.LGBT>

Supported by

THE NIPPON
FOUNDATION